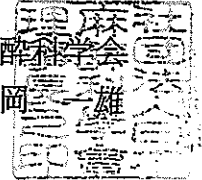


2002年2月19日

厚生労働省医政局
局長 篠崎 英夫 殿

社団法人日本麻酔科学会
理事長 花岡 一雄



卒後臨床研修における麻酔科必修化の要望

平成16年度より卒後臨床研修の義務化につき、日本麻酔科学会では以下のような理由により、麻酔科を卒後臨床研修必修科目として組み入れていただきますことを強く要望いたします。

1. 気道確保、気管内挿管、中心静脈確保、硬膜外麻酔など、麻酔科領域の医学的知識と手技は、卒後研修カリキュラムの基本的な手技を習得させる上で重要な役割を果たしている。
2. 救急医療、緩和・終末期医療などは、麻酔科の関与の大きい領域であり、医学的知識と手技を習得させるうえで大いに寄与できる。
3. 平成10年および11年に公表された国立大学附属病院卒後臨床研修共通カリキュラムを受けて、既に教育機関の多くで研修プログラムに麻酔科を必修科としてローテートすることが組み込まれ稼働しており、システム、スタッフ等の整備が進んでいる。

以上のような理由から、わが国の医療における大改革の起点の一つとなる臨床研修の必修化において、麻酔科研修が必修科目としてプログラムに組み込まれることを切に要望いたします。